

須賀 友里恵さん（派遣期間：7月26日～8月9日）

■ 出会い

私は二軒のお宅にお世話になっておりましたが、どちらも温かくて、面白い！！それがすごく印象に残っています。常に場を盛り上げてくれる姿勢と洒落のきいた言葉。初め緊張していた私の心が、少しずつリラックスしていったのは、泊っていたご家族の方たちのおかげです。

■ 子供の頃の心残り

私は小さいときから都心部で生活しており、祖父母の家も割りと近かったことから、友達がお盆休みに遠くの祖父母宅に帰郷し、自然を満喫した夏休みを過ごしていることにずっと憧れを抱いていました。自然の中

で、川遊びや山歩き海辺で散歩したり、夜空を眺めたり…現在大学4年であり、来年就職する私は、きっとこの憧れを実現できないまま、社会人になるとずっと思っていました。しかしながら錦江町でのインターン中に、周囲の方々の協力のお陰で心残りだった夢を実現させて頂くことができましたように思います。私の我ままを聞いてくださった山王さん、牧原さん、木場さん、特に木場夫人には、相当ご協力頂きました。あれもこれもと、やりたいことが沢山あり振り回してしまいましたが、本当に本当に感謝しております。

■ 「意見を持つ資格」いただけますか？

私は大学で「まちづくり」について学び、地方の高齢化や過疎化について考える機会がありました。何度か自分の考えを発表する機会もありました。文献で調べて感じたことをまとめる。でもそんな自分に納得できていませんでした。むしろ、罪悪感が募っていました。まちづくりに興味があり、自分も何か力になりたいと思う一方、実感としての学習のない自分。意見する資格なんて無いように思っていました。

今回、二週間というわずかな時間でしたが、限界集落に行かれたこと、町のために熱い気持ちをもって働く役場の方の話聞いたこと、私は実感として錦江町のもつ「場所の力」の可能性を、以前より感じる事ができたように思います。



錦江中学校の3年生に講話する須賀さん



受入家庭の牧原さん・木場さん家族と

■ まちの子供たちへ

「あの人は特別だから。」「自分になんか出来ない。」他人を羨んでしまう時ってないですか？私はよくありました。もちろん今も無いわけではありません。でも自分をもっと好きになるために、カッコいい自分になるために、努力しようと心がけています。夢を諦めないで下さい。さまざまな事にチャレンジして下さい。

錦江中学校で講演したことは、中学生時代の自分を振り返る良い機会になると共に、自分自身へも自分の言葉を言い聞かせている状態でした。私は弱い人間なので。

「失敗しても、迷うことがあっても、走り続けることで何かが見えてくる。」

私が尊敬している人から言われた言葉です。毎日後悔をしないように、日々が過ごせたらいいと思っています。